

選択した問題は、選択欄の(選)をマークしてください。マークがない場合は、採点されません。

問6 プロジェクトのスケジュール作成に関する次の記述を読んで、設問 1, 2 に答えよ。

W 社は、業務効率化を目的として、紙のりん議書を回付して行っている申請承認に関わる業務を電子化するプロジェクト（以下、りん議書電子化プロジェクトという）を立ち上げた。

〔りん議書電子化プロジェクトの概要〕

りん議書電子化プロジェクトでは、紙のりん議書を電子帳票化するシステム（以下、電子帳票システムという）を、W 社の情報システム部が新規に開発する。電子帳票化されたりん議書の回付（以下、りん議書回付という）には、クラウドサービスプロバイダが提供している回付業務のクラウドサービス（以下、回付サービスという）を、比較検討の上、導入して利用する。

設問1 次の記述中の  に入れる正しい答えを、解答群の中から選べ。

プロジェクトマネージャの Q 君は、りん議書電子化プロジェクトのスケジュールを、アローダイアグラムを用いて作成することにした。

アローダイアグラムの例を、図1に示す。

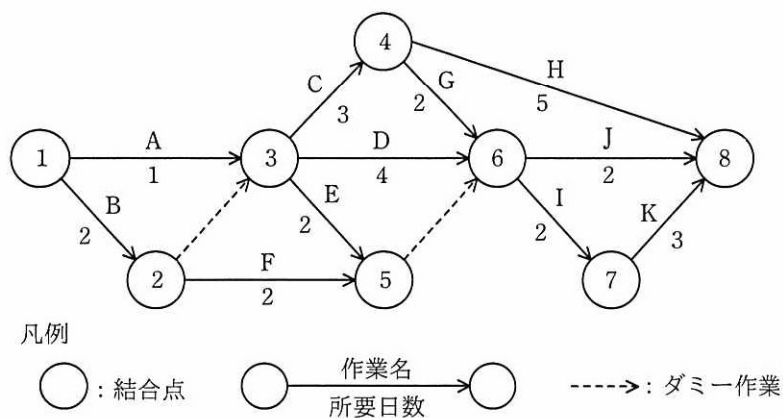


図1 アローダイアグラムの例

図 1 のクリティカルパスは  であり，全ての作業を完了するために必要な所要日数（以下，総所要日数という）は  日である。また，作業 J について，最早開始日と最遅開始日は  であり，余裕日数は  日である。ここで，結合点 1 から始まる作業の開始日は 0 日とする。また，余裕日数とは，当該作業に先行する作業が遅れなしに完了したとき，総所要日数を増加させることなく，当該作業が遅れてもよい日数である。

a に関する解答群

	作業名
ア	A, C, G, I, K
イ	A, D, I, K
ウ	B, C, G, I, K
エ	B, C, H
オ	B, D, I, K
カ	B, F, I, K

b に関する解答群

ア 9                      イ 10                      ウ 11                      エ 12                      オ 13

c に関する解答群

ア 4 日と 7 日                      イ 4 日と 8 日                      ウ 5 日と 8 日  
エ 5 日と 9 日                      オ 7 日と 10 日                      カ 7 日と 11 日

d に関する解答群

ア 0                      イ 1                      ウ 2                      エ 3                      オ 4

設問2 次の記述中の  に入れる正しい答えを、解答群の中から選べ。

Q 君は、りん議書電子化プロジェクトのスケジュール作成に当たり、プロジェクトで実施する作業を、表1に示す作業一覧表にまとめ、作業の流れを整理中である。作成途中のアローダイアグラムを、図2に示す。

表1 作業一覧表

作業名	作業項目	所要日数	作業内容
A	プロジェクト計画作成	20	スケジュールや体制、要員配置など、プロジェクトの計画を作成する。
B	業務要件定義	30	紙のりん議書の電子帳票化及びりん議書回付に関する業務要件を定義する。
C	システム要件定義	20	電子帳票システムに関しては、紙のりん議書を電子帳票化する業務要件を満たすソフトウェア構成及びハードウェアとミドルウェアの構成を定義する。回付サービスに関しては、電子帳票システムとの連携要件 <sup>1)</sup> を定義する。
D	ハードウェア、ミドルウェア調達	30	電子帳票システムのシステム要件に適合したハードウェアとミドルウェアを調達する。
E	ハードウェア設置、ミドルウェア設定	30	調達したハードウェアを設置し、外部設計で定義したミドルウェアのパラメタ <sup>2)</sup> 設定を行う。
F	回付サービスの候補選定	10	りん議書回付の業務要件に適合する回付サービスの候補を選定する。できるだけ多くの回付サービスを候補とするために、りん議書回付に関する業務要件だけを前提として選定を行い、電子帳票システムとの連携要件は前提としない。
G	回付サービスの適合性検証、決定	40	候補として選定した回付サービスについて、それぞれ業務要件との適合性検証、システム要件定義で定義した電子帳票システムとの連携要件の適合性検証を実施し、導入する回付サービスを決定する。
H	回付サービスの利用準備	40	回付サービスを利用するための各種パラメタ設定などを行う。
I	外部設計	20	システム要件を基に電子帳票システムのソフトウェアの外部設計、ミドルウェアのパラメタ定義を行う。
J	内部設計	20	外部設計を基に電子帳票システムの内部設計を行う。
K	プログラム開発、単体テスト	30	内部設計を基に電子帳票システムのプログラム開発と単体テストを行う。
L	結合テスト	20	電子帳票システムと回付サービスを連携させた結合テストを行う。
M	総合テスト	20	実運用を想定した総合的なテストを行う。
N	本番移行	10	各種のシステム資源を稼働環境に移行する。

注<sup>1)</sup> 連携要件とは、電子帳票システムとの連携に必要な機能、データ項目及びインタフェースである。

注<sup>2)</sup> ミドルウェアの外部仕様は、公開されている。

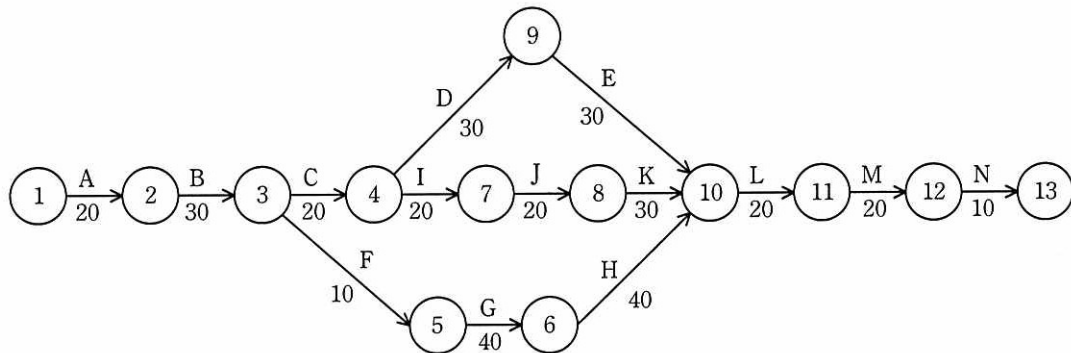


図2 作成途中のアローダイアグラム

作成途中のアローダイアグラムには、二つのダミー作業が欠けている。りん議書電子化プロジェクトのスケジュールを正しく表現するためには、

と  にダミー作業を追加する必要がある。

ダミー作業追加後のアローダイアグラムにおいて、りん議書電子化プロジェクトの総所要日数は、 日である。

e, fに関する解答群

- |               |              |
|---------------|--------------|
| ア 結合点2から結合点9  | イ 結合点3から結合点9 |
| ウ 結合点4から結合点5  | エ 結合点4から結合点6 |
| オ 結合点6から結合点7  | カ 結合点6から結合点8 |
| キ 結合点6から結合点12 | ク 結合点7から結合点9 |

gに関する解答群

- |       |       |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ア 160 | イ 170 | ウ 180 | エ 190 | オ 200 | カ 210 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|